

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202005810030G5	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[環境] 419 地域環境データ解析室1(4F)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	twatanab@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	環430(学部本館4階)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2718		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日12:00-14:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標 / Course goals	1. 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 2. 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) 3. ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点)+中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点+レポート(30点×1回)=合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード / Keywords	人文科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第3回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第9回	グループワーク（1）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	グループワーク（4）
第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202005810030G6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	保坂 稔 / Hosaka Minoru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	保坂 稔 / Hosaka Minoru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	保坂 稔 / Hosaka Minoru		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[環境] 402 フィールドリサーチ解析室(4F)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hosaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	保坂 環境427		
担当教員TEL / Tel	095-819-2728		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜 16:00-17:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文社会科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード / Keywords	<p>人文社会科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力</p>		
教科書・教材・参考書 / Materials	<p>授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。</p>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第3回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第9回	グループワーク（1）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	グループワーク（4）
第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202005810030G7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	黒田 暁 / Satoru Kuroda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	黒田 暁 / Satoru Kuroda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	黒田 暁 / Satoru Kuroda		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[環境] 428 社会環境資料解析室3(4F)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	skuroda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	環431		
担当教員TEL / Tel	095-819-2732		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜13:00 - 14:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード / Keywords	<p>人文科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力</p>		
教科書・教材・参考書 / Materials	<p>授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。</p>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第3回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第9回	グループワーク（1）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	グループワーク（4）
第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202005810030G8	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	菊池 英弘 / Kikuchi Hidehiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	菊池 英弘 / Kikuchi Hidehiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	菊池 英弘 / Kikuchi Hidehiro		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[環境] 437 社会環境資料解析室1(4F)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hkikuchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	環境科学部棟4階406		
担当教員TEL / Tel	095-819-2725		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日11時-12時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード / Keywords	<p>人文科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力</p>		
教科書・教材・参考書 / Materials	<p>授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。</p>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第3回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第9回	グループワーク（1）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	グループワーク（4）
第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202005810030G9	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松本 健一 / Matsumoto Kenichi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	松本 健一 / Matsumoto Kenichi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	松本 健一 / Matsumoto Kenichi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kenichimatsu [at] nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	環453室		
担当教員TEL / Tel	2735		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にアポを取ってください		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード / Keywords	人文科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第3回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第9回	グループワーク（1）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	グループワーク（4）
第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202005810030H1	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 護 / Yoshida Mamoru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 護 / Yoshida Mamoru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 護 / Yoshida Mamoru		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[環境] 409 学系セミナー室(4F)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yoshida-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	環境科学部棟442号室		
担当教員TEL / Tel	075-819-2733		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水10:00-12:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文社会科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード / Keywords	<p>人文社会科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力</p>		
教科書・教材・参考書 / Materials	<p>授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。</p>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第3回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第9回	グループワーク（1）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	グループワーク（4）
第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/04/10 ~ 2020/07/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202005810030H2	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	長江 真樹 / Nagae Masaki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	長江 真樹 / Nagae Masaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	長江 真樹 / Nagae Masaki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nagae@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	環境科学部3階 環309-2 長江教員室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2755		
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文社会科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード / Keywords	<p>人文社会科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力</p>		
教科書・教材・参考書 / Materials	<p>授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。</p>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第3回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第9回	グループワーク（1）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	グループワーク（4）
第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/04/10 ~ 2020/07/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202005810030H3	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 樹三裕 / Kimihiro Yamashita		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 樹三裕 / Kimihiro Yamashita		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 樹三裕 / Kimihiro Yamashita		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kimihiro@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	環境科学部本館2階 環214		
担当教員TEL / Tel	819-2770		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード / Keywords	人文科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	主体的に授業に取り組む姿勢を身につけてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第3回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第9回	グループワーク（1）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	グループワーク（4）
第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202005810030H4	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	仲山 英樹 / Hideki NAKAYAMA		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	仲山 英樹 / Hideki NAKAYAMA		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	仲山 英樹 / Hideki NAKAYAMA		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nakayamah@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	環境科学部仲山教員室(環326)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2750		
担当教員オフィスアワー / Office hours	質問・相談等は、随時受け付けていますが、まずはメールで問い合わせてください。必要に応じて面談を行います。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード / Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせて、必要があれば随時指示する。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	仲山が担当する第6回以降は、毎回LACSを使用するため、ノートPCまたはタブレットPCを持参すること。 第6回は、学生便覧を持参すること。 第7回の前日までに、各自で特に重要と考える環境問題について考えて、第5回のガイダンスの方法によりPDFとして入手可能な文献資料を最低3つ収集しておくこと。
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ / Message for students	重要な連絡をすることがありますので、長大メール及び掲示板を毎日必ず確認する様にしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第3回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第9回	グループワーク（1）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	グループワーク（4）
第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202005810030H5	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井口 恵一朗 / Iguchi Keiichiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	井口 恵一朗 / Iguchi Keiichiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	井口 恵一朗 / Iguchi Keiichiro		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	keyichi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	環317		
担当教員TEL / Tel	095 819 2745		
担当教員オフィスアワー / Office hours	あいている時間であれば、いつでもどうぞ。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点)+中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点+レポート(30点×1回)=合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード / Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第3回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第9回	グループワーク（1）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	グループワーク（4）
第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202005810030H6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 二郎 / Okada Jiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 二郎 / Okada Jiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 二郎 / Okada Jiro		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	jokada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	環境科学部本館227室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2762		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月~金 12:10 ~ 12:40		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード / Keywords	<p>人文科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力</p>		
教科書・教材・参考書 / Materials	<p>授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。</p>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第3回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第9回	グループワーク（1）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	グループワーク（4）
第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/04/10 ~ 2020/07/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202005810030H7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	武藤 鉄司 / Tetuji Mutou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	武藤 鉄司 / Tetuji Mutou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	武藤 鉄司 / Tetuji Mutou		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tmuto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	環境科学部本館2階 環211 武藤教員室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2769		
担当教員オフィスアワー / Office hours	在室時いつでも可		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード / Keywords	<p>人文科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力</p>		
教科書・教材・参考書 / Materials	<p>授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。</p>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第3回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第9回	グループワーク（1）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	グループワーク（4）
第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/04/10 ~ 2020/07/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202005810030H8	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	久保 隆 / Kubo Takashi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	久保 隆 / Kubo Takashi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	久保 隆 / Kubo Takashi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kubo-t nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部本館3階 環335室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2756		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前連絡があれば随時対応する。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文社会科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点)+中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点+レポート(30点×1回)=合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード / Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第3回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第9回	グループワーク（1）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	グループワーク（4）
第14回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）
第15回	就職委員会によるキャリア教育